

平和学習で学んだこと
浅井香帆
私が今回の学習で分かったのは戦争で壊されるのは建物だけではない、ということですね。実際に戦争を体験した方のお話を聞いて私はこのことを強く感じました。
例えば「嘘」です。戦時中は小学校の事を国民学校と呼び、皆そこに通っていたそうなんです。国民学校では先生が生徒に、たとえ日本が劣勢でも、日本は勝っていると言っていると嘘をつき、何が真実か分からない状態だったそうです。また、戦争が激しくなると先生が生徒達を連れて田舎へ逃げる集団疎開をしました。それは、もちろん子供だけなので母親と離れる事になります。当然、子供は離れるのが嫌なので行きたがりませんが、母親は行かせるために、あるはずのない、おいしいご飯を食べられるからと言いつつ、子供を説得させていたそうです。どちらの例をとっても安心させるためについた嘘だと思いますが、嘘はつかれ

た人だけではなく、ついた人の心も傷つける
ので、すぐくつらかったらうと思いません。
また、疎開後も悲しい現状でした。例えば
優しかった上級生は下級生に毎日のように暴
力をふるっていきめていたそうです。
このように戦争は、人の人柄を変えてしま
ったり、自分も、相手の心も傷つけてしま
うものなのです。戦争は人の心までも壊してし
まうものだと思いました。
このような事はもう二度と起きてはいけな
いと思います。それは戦争で犠牲になった人
達の願いでもあります。私はこの学習中、い
ろんな所でこの誤ちを悔やむ言葉を見てきま
した。その気持ちは絶対になくしてはいけま
せん。今も世界には争いが絶えない所が数多
くあります。しかし、戦争で得られる事は何
もありません。私達が大人になつた時、笑顔
であふれていて誰もがあたりまえの日常を送
れる、平和な世界であつてほしいと思います。